

## 平成31年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
主な調査箇所は、下記の通りです。

## 【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

山形県 国道112号 山形中山道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

青森県	下北半島縦貫道路	野辺地～七戸
岩手県	盛岡南道路	
岩手県	北上花巻道路	
宮城県	石巻河南道路	
宮城県	仙台東道路	
福島県	矢吹鏡石道路	
山形県	新庄酒田道路	戸沢～立川

直轄による権限代行実施の検討を行うための調査

岩手県	国道106号	宮古地区
宮城県	国道349号	丸森地区

北上花巻道路については概略ルート・構造の検討を進め、その結果を踏まえ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施します。

青森・南部地域については、青森県と連携し、みちのく有料道路の活用も含めた幹線道路ネットワークの機能強化を検討します。

国道4号仙台拡幅については、整備方針等の検討を実施します。

宮城県内において、国道48号上愛子地区を対象に、これまでの観光期渋滞対策の結果を踏まえた対応方針の検討を進めます。

国道112号山形地区については、幹線ネットワークの機能強化を検討します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

## ＜道路調査の流れ＞

